



# 長門の話題 Topics

## JR仙崎駅のギャラリーがリニューアルオープン 大津あきら氏の資料など展示

4月10日(水)、JR仙崎駅構内にあるギャラリーがリニューアルオープンしました。オープンを記念したセレモニーには、長門市出身で「輝きながら」「心の色」などのヒット作を生み出した作詞家・大津あきら氏とコンビを組んで活動していた作曲家の鈴木キサブロー氏や作詞家のせきけんじ氏 音楽プロデューサー



▲大津あきら氏の貴重な資料を展示

の徳田浩彦氏らも出席し、テープカットをしてオープンを祝いました。ギャラリーには、大津あきら氏が愛用した品々など貴重な資料や、引揚げ港として指定された仙崎港の当時の様子を伝える写真パネルなど約60点が常設で展示されています。このギャラリーは入場無料で、開館時間は9時から17時。



▲テープカットでリニューアルオープンを祝う

## 市民広場の床に配置するブロックを市民の手で製作 版築市民ワークショップ

4月6日(土)、版築市民ワークショップが開催され、小学生26人が参加し、版築ブロックを製作しました。版築とは、土壁などの築造法で板枠の中に土を入れて突き固め、層を重ねてつくる伝統技法です。ワークショップで制作した版築ブロックは、市役所新庁舎前の市民広場の床に使用される予定です。



▲長門市をイメージしたデザインブロックを製作

## 10月に開催される全国棚田(千枚田)サミットに向け 耕作放棄地の復田を

4月14日(日)と16日(火)の2日間、旧文洋小学校の東側ほ場の復田作業が地元住民ら延80人の手で行われ、耕作放棄地となった農地にはびこる蔓の根を約3時間かけて取り除く作業が行われました。この農地には、5月20日(月)にハーブの移植や花の種を蒔く作業が予定されています。



▲サミット見学コースとなる棚田景観を守る

# 長門のPeople



## 調理を通して交流と自立を 男子厨房に入る会 (代表 廣田隆男さん)

活動日：毎月第1火曜日 活動場所：旧伊上小学校  
参加費：1回1,000円  
詳細は事務局の森田さんまで (Tel 32-1258)

油谷地区で活動する「男子厨房に入る会」は、地域の高齢化が進み、男性も自分たちで料理を作れるようになると、平成29年10月に有志が集まり発足。現在、男性13人が、毎月第1火曜日に旧伊上小学校を拠点に料理教室を開催し、交流を深めています。

ルーなど幅広いレシピに挑戦されています。男性同士、和気あいあいと楽しみながら調理されているそうです。代表を務める廣田隆男さんは「60歳代から80歳代まで交流しながら、自分で料理を作れるようになることを目的に活動しています。今は油谷地区の参加者が中心ですが、関心のある男性がいれば、地区外からでもぜひ参加していただき、一緒に料理を作りましょう」と参加を呼びかけていました。



▲この日は押し寿司に挑戦。男性同士和気あいあいと調理。

## 高校生がながとブルーエンジェルスと語学交流

## 英語でコミュニケーション

4月2日(火)、ながとブルーエンジェルスの選手と大津緑洋高校の生徒による語学交流が行われました。お互いに名前や家族構成、趣味などの自己紹介を行った後、生徒から選手にコミュニケーションのコツやラグビーの話題、日本と海外の文化の違いなどを質問。身振り手振りを交えながと英語で交流を図りました。



▲ラグビーW杯に向け、英語のスキルアップを目指す

## 地域農業の発展を目指して農業公社を設立

## (一社)アグリながと発足

4月1日(月)、長門市と深川養鶏農業協同組合、長門建設業協同組合の3者が出資した「(一社)アグリながと」の設立総会が開かれました。同法人は、就農希望者の研修および指導、農産物の生産販売などを担い、地域農業の維持保全に取り組みます。



▲地域農業の守り手として期待がかかる